

〈支援企業を訪問しました〉 NPO法人ほうき星 川越ワークいちばん星 殿

「5Sカイゼン活動により、職員の意識が変り施設の財産となる！」

NPO法人ほうき星（澤部理事長）川越ワークいちばん星は『自立・豊かさ・生きがい』の基本理念のもと、川越市地域デイケア施設として平成17年4月開設、平成24年福祉サービスB型事業の認定を受けました。現在職員数12名（パート含む）、利用者数26名で、障害者就労継続支援事業として室内内職（商品梱包）、清掃作業、パン・クッキー製造販売、リサイクル（袋・缶分別）の事業を行っています。施設は①内職は単価が低く、仕事量がばらつき安定した業務が期待できない。②パン・クッキーの売り上げが伸びない。③施設全体の環境を改善し、職員・利用者の働きやすい施設にしたい等の課題を抱えていました。

上記課題を克服するために、平成27年、埼玉県が就労継続支援B型事業を行う障害福祉事業所を対象とした障害者就労施設現場カイゼン事業に応募し採択されました。

私たちアブセックとしても、企業OBの経験豊富な種々の能力を持った人材が豊富で、また平成24年から取り組んだ「障害者就労施設・シニア連携事業」の実績が評価されたことから平成27年度の「障害者就労施設現場カイゼン事業」への支援が採択されました。

そして平成27年7月より障害者就労施設現場と販売面のカイゼン事業に着手致しました。



支援に先立ち勉強会では5Sカイゼン活動の目的、狙いなどを職員に理解していただき、キックオフ宣言で『5Sでいちばん星を「らしく・楽しく・判り易く」のローガンのもと、各職場毎のカイゼンチェックシートにより月2回のペースで勉強会・指導・助言を行いました。その結果整理・整頓・清掃が目に見える形で多目的ホールが改善され、動



【支援指導の様子】

線利用者の動きにムダが減り、特に車いす利用者

【棚のカイゼン】

から「動きやすくなった事、作業が自分でできるようになり嬉しい」との声も出て来ました。棚・掲示板・事務所など整理・整頓したことで「作業のムダが減少し作業性が向上しました。又販売カイゼンでは経費削減・売上増への原材料の管理、原単位見直し、POPのカイゼンにより、新しいパン・菓子工房は生産量UP、販売先も徐々に開拓することが出来、大手電気会社S社より焼き菓子の大口の受注を頂きました。以上のカイゼンにより対前年同期比で売上120%、工賃102%の成果につながりました。最後に澤部理事長から『今回のカイゼン事業により、職員全員の意識が変り、工賃に関する問題点など販売会議などで提案するようになった』。アブセックの熱心な指導のもとで、5Sカイゼンを手を取り指導を受けた事が施設の大きな財産となり、施設の大きな財産となり、人財となったと実感している。5S会議を活用し、チャレンジ精神を發揮して売上増・工賃増へ継続的に取り組んでゆきたい。また『他施設への展開をはかってゆきたい』との言葉を頂きました。

【POPのカイゼン】

（小島 記）



ご意見・お問い合わせはこちらまで



上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会
アブセック事務局 TEL 048-773-3111 E-mail abcec@ageocci.or.jp